

「パパ活アイドルの末路」

いまどき、地下アイドルの活動は厳しい。

チケットの売り上げ、グッズの販売、支援サイトへの課金…。

いずれもアイドル個人が背負うには大きい負担ばかりだ。

そこにスポンサーの存在が現れたら、拒否できるだろうか？

たとえそれが、少女が体験したこともないような、

ドス黒く淫靡で、危険な世界の入り口だとしても……。



ほ、ほんとうに支援してくださるんですか？

ありがとうございます！

実はチケットとグッズに売り上げノルマがあって、今週中に達成できないとヤバイんです、私。

助かったあ……これでアイドルを続けられます。

え、その代わり……ですか？

……はい。この道に進んだんですから、

それについては、覚悟ができてるつもりです。

あなた様を気持ちよくすればいいんですよね。

え？ それだけじゃ落まないよって……。

あの、私、いったいなにをすれば……？



やあっ、やめてん。

こんなに多人数だなんて聞いてません。

てっきりスポンサー様お一人が相手だと……。

ぞ、そんな恥ずかしいことを、自分から

皆さんの前で言わなきゃいけないんですか？

「わ、私は活動のために、おっぱいもオマンコも
差し出して、たくさんのおじさまたちに弄ばれ
て悦ぶ、エッチなド変態アイドルです……！」

も、もついいですか？

さんざん私を弄んだから皆さん満足でしょっ？

え、「何言ってるんだ、これからが本番だぞ」って

これ以上何をするつもりなんですか。怖い……。



あはは。新しいおちんぼさま、来たあ。

またいっぱい「ジュジュ」どかチュ。パチュ。パするから
びゅーっ、びゅーっで、いっぱいザーめん出してね。
私のおっぱいとおまんこにいっぱいぶっかけて、
真っ白でゴロゴロのへちまへちまにっへん。
「ト」でっで終わっへんあ。はいそうれーす。

え、「そろそろステージにくぞ」って？
すてーじってなんらっけ……あ、そうか。

怖い人たちの前で、エロ衣装でお尻を振って、
その後舞台上で、皆さんから回されちゃうやつだ。

あはは。毎日たのしいれすう。犯されるの好きい。

人格放棄の。パ。パ。活アイドル、やっててよかったあ。

